



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社デイ・シー

コード番号 5234 URL <http://www.dccorp.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 森 紀雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長

(氏名) 仁田峠 宏司

TEL 044-223-4751

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	18,737	6.2	447	—	645	974.4	330	81.0
23年3月期第2四半期	17,641	△15.3	△193	—	60	△88.1	182	△29.0

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 37百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △474百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	9.58	—
23年3月期第2四半期	5.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	42,027	—	17,042	—	40.2	—
23年3月期	42,710	—	17,104	—	39.7	—

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 16,907百万円 23年3月期 16,955百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	—	2.00	—	3.00	5.00
24年3月期	—	2.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	3.2	700	—	1,050	202.6	600	614.3	17.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	34,587,433 株	23年3月期	34,587,433 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	59,349 株	23年3月期	72,697 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	34,524,855 株	23年3月期2Q	34,491,314 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災及び原子力発電所再稼働延期の影響に加え、世界的な金融不安の増大や輸出の減少、設備投資意欲の減退並びに個人消費が弱含むなど、極めて不透明な状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く経営環境につきましては、首都圏での再開発工事が堅調に推移するなど、セメントの国内需要の増加もあり、少なからず回復の兆しがみられました。

このような状況の下、当社グループといたしましては、「関東における建設基礎資材総合サプライヤーの地位の確立」を目指すべきグループ像とする、中期経営計画(12デイ・シイグループ中計)の達成に向け、企業価値向上のために取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は18,737百万円と前年同期と比べ1,095百万円の増収、営業利益は447百万円と前年同期と比べ641百万円の増益、経常利益は645百万円と前年同期と比べ585百万円の増益、四半期純利益は330百万円と前年同期と比べ148百万円の増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①セメント関連事業

当事業におきましては、需要環境に回復の兆しがみられました。営業面では営業力の強化を図り、販売数量の増加と収益の確保に取り組みました。また、川崎工場においてセメント製造設備の老朽化対策工事を実施し安定運転に注力いたしました。この結果、売上高は4,987百万円と前年同期と比べ35百万円の減収に止まり、コスト削減に努めました結果、セグメント利益は191百万円と前年同期と比べ240百万円の増益となりました。

②骨材事業

当事業におきましては、新規ユーザーの獲得に注力するなど、営業力の強化を図りました。また、生産面では骨材採取地における安定操業に努めるとともに製造コストの削減に取り組みましたものの、電力使用制限令による生産活動の抑制や台風等の天候不順もあり、売上高は4,290百万円と前年同期と比べ119百万円の減収となり、セグメント利益は48百万円と前年同期と比べ13百万円の減益となりました。

③環境リサイクル事業

当事業におきましては、リサイクル原燃料の収集力強化を図り、特に建設発生土及び可燃性廃棄物の確保に鋭意取り組みました。この結果、売上高は2,231百万円と前年同期と比べ823百万円の増収となり、セグメント利益は267百万円と前年同期と比べ205百万円の増益となりました。

④不動産賃貸事業

当事業におきましては、不動産需要・市況の低迷が続く中、売上高の減少に歯止めをかけるべく鋭意努めましたものの、売上高は369百万円と前年同期と比べ10百万円の減収となり、セグメント利益は170百万円と前年同期と比べ30百万円の減益となりました。

⑤生コンクリート事業

当事業におきましては、主力市場における住宅着工等の建設需要が回復基調で推移したことにより、販売数量が増加したことに加え、より一層の原価の低減に努めました結果、売上高は5,334百万円と前年同期と比べ399百万円の増収となり、セグメント損失は116百万円と前年同期と比べ214百万円改善いたしました。

⑥管路事業

当事業におきましては、コスト削減を図るなど利益の確保に努めましたものの、需要規模の縮小により販売数量が減少しました。この結果、売上高は841百万円と前年同期と比べ95百万円の減収となり、セグメント利益は135百万円と前年同期と比べ3百万円の減益となりました。

⑦その他

その他におきましては、コンクリート二次製品事業において生産体制の見直しなどコスト削減に取り組みました。この結果、売上高は683百万円と前年同期と比べ133百万円の増収となり、セグメント利益は3百万円と前年同期と比べ17百万円の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ682百万円減少し42,027百万円となりました。その主な要因は、投資有価証券の減少514百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ620百万円減少し24,985百万円となりました。その主な要因は、借入金の減少319百万円によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ62百万円減少し17,042百万円となりました。その主な要因は、四半期純利益330百万円、その他有価証券評価差額金の減少279百万円及び剰余金の配当103百万円であります。

②キャッシュフローの状況

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ385百万円減少し、1,312百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、1,153百万円（前年同期比4.9%増）であります。

その主なものは、減価償却費1,169百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、1,006百万円（同68.0%増）であります。

その主なものは、有形固定資産の取得による支出979百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、520百万円（同485.4%増）であります。

その主なものは、借入金の純減額319百万円及び配当金の支払額103百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月13日に公表いたしました通期連結業績予想の見直しを行っております。詳細につきましては、平成23年11月10日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,697	1,312
受取手形及び売掛金	7,607	7,964
商品及び製品	928	993
仕掛品	6	7
原材料及び貯蔵品	1,119	1,015
その他	701	553
貸倒引当金	△62	△51
流動資産合計	11,999	11,794
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,017	6,921
機械装置及び運搬具（純額）	5,114	4,756
土地	10,295	10,296
リース資産（純額）	379	539
建設仮勘定	118	554
その他（純額）	115	103
有形固定資産合計	23,041	23,170
無形固定資産		
のれん	403	350
その他	2,318	2,248
無形固定資産合計	2,721	2,599
投資その他の資産		
投資有価証券	3,670	3,155
その他	1,299	1,334
貸倒引当金	△22	△27
投資その他の資産合計	4,948	4,462
固定資産合計	30,710	30,232
資産合計	42,710	42,027

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,177	4,814
短期借入金	5,880	6,259
未払法人税等	49	239
引当金	101	86
その他	2,489	2,716
流動負債合計	13,697	14,116
固定負債		
長期借入金	6,915	6,216
退職給付引当金	1,492	1,523
その他の引当金	633	301
資産除去債務	254	273
負ののれん	771	531
その他	1,839	2,021
固定負債合計	11,907	10,868
負債合計	25,605	24,985
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,013	4,013
資本剰余金	5,046	5,047
利益剰余金	8,616	8,843
自己株式	△21	△17
株主資本合計	17,654	17,886
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	588	309
土地再評価差額金	△1,288	△1,288
その他の包括利益累計額合計	△699	△978
少数株主持分	149	134
純資産合計	17,104	17,042
負債純資産合計	42,710	42,027

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	17,641	18,737
売上原価	14,486	14,900
売上総利益	3,154	3,836
販売費及び一般管理費	3,348	3,389
営業利益又は営業損失(△)	△193	447
営業外収益		
受取利息	3	9
受取配当金	66	54
負ののれん償却額	239	239
その他	86	108
営業外収益合計	397	411
営業外費用		
支払利息	95	82
持分法による投資損失	6	55
その他	40	76
営業外費用合計	143	214
経常利益	60	645
特別利益		
固定資産売却益	16	5
貸倒引当金戻入額	8	—
その他	9	0
特別利益合計	34	5
特別損失		
固定資産除売却損	6	21
減損損失	2	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	107	—
その他	29	—
特別損失合計	146	21
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△51	629
法人税、住民税及び事業税	190	226
法人税等調整額	△349	83
法人税等合計	△158	310
少数株主損益調整前四半期純利益	106	319
少数株主損失(△)	△75	△11
四半期純利益	182	330

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	106	319
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△569	△281
持分法適用会社に対する持分相当額	△12	△0
その他の包括利益合計	△581	△282
四半期包括利益	△474	37
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△391	51
少数株主に係る四半期包括利益	△83	△14

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△51	629
減価償却費	1,226	1,169
負ののれん償却額	△165	△187
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△15	△5
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1	30
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	24	△337
受取利息及び受取配当金	△70	△63
支払利息	95	82
持分法による投資損益(△は益)	6	55
その他の引当金の増減額(△は減少)	△81	△9
有形固定資産売却損益(△は益)	△16	△5
有形固定資産除却損	6	21
減損損失	2	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△0
為替差損益(△は益)	6	11
売上債権の増減額(△は増加)	1,677	△362
たな卸資産の増減額(△は増加)	△235	39
その他の流動資産の増減額(△は増加)	46	27
未払又は未収消費税等の増減額	△65	48
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,070	△410
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△221	180
預り保証金の増減額(△は減少)	△9	△4
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	107	—
その他	26	240
小計	1,225	1,151
利息及び配当金の受取額	71	62
利息の支払額	△98	△82
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△99	21
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,099	1,153

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△611	△979
有形固定資産の売却による収入	26	1
無形固定資産の取得による支出	△7	△8
投資有価証券の取得による支出	△3	△1
投資有価証券の売却による収入	—	0
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△2	3
長期貸付けによる支出	△7	△4
長期貸付金の回収による収入	8	3
敷金及び保証金の差入による支出	△3	△19
敷金及び保証金の回収による収入	1	3
その他	0	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△599	△1,006
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	700	500
長期借入れによる収入	372	—
長期借入金の返済による支出	△977	△819
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△137	△103
リース債務の返済による支出	△46	△63
その他	—	△34
財務活動によるキャッシュ・フロー	△88	△520
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	△11
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	405	△385
現金及び現金同等物の期首残高	1,783	1,697
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,188	1,312

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	セメント関連 事業	骨材事業	環境リサイクル 事業	不動産賃貸 事業	生コンクリート 事業	管路事業
売上高						
外部顧客への 売上高	5,022	4,409	1,408	379	4,934	936
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	201	637	58	31	△0	0
計	5,224	5,047	1,466	410	4,934	937
セグメント利益 又は損失(△)	△49	62	61	200	△331	139

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	計				
売上高					
外部顧客への 売上高	17,091	550	17,641	—	17,641
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	929	1	930	△930	—
計	18,020	551	18,572	△930	17,641
セグメント利益 又は損失(△)	83	△14	68	△8	60

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンクリート二次製品事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去△1百万円及び持分法投資損失6百万円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					
	セメント関連 事業	骨材事業	環境リサイクル 事業	不動産賃貸 事業	生コンクリート 事業	管路事業
売上高						
外部顧客への 売上高	4,987	4,290	2,231	369	5,334	841
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	285	600	42	30	14	0
計	5,273	4,891	2,274	399	5,348	841
セグメント利益 又は損失 (△)	191	48	267	170	△116	135

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	計				
売上高					
外部顧客への 売上高	18,053	683	18,737	—	18,737
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	973	0	973	△973	—
計	19,027	683	19,711	△973	18,737
セグメント利益 又は損失 (△)	697	3	700	△54	645

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンクリート二次製品事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去0百万円及び持分法投資損失55百万円であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。